

アツモリソウ

Cypripedium macranthum Sw. var. *speciosum* (Rolfe) Koidz.

全国カテゴリー；絶滅危惧 B類

- 【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少 全ての個体群で強い捕獲・採取圧により減少
- 【形態】 多年草。根茎は横にはう。茎は高さ30cm前後で有毛。葉は長楕円形で3 - 5枚互生する。6～7月に茎頂に10cm程の花1個つく。苞は葉と同形。がく片・側花弁は唇弁と同色。唇弁は大きな袋状で、淡紅色～紅紫色。
- 【分布】 本州中部以北～北海道、アジア北東部～ヨーロッパ東部にかけて分布する。
- 【県内の分布、生育状況】 雑木林の疎林地や草地に極めてまれに産する。今回のレッドデータブック調査では確認できなかった。
- 【生育に影響を与えている要因】 園芸採取

キバナノアツモリソウ

Cypripedium guttatum Sw. var. *yatabeanum* (Makino) Pfitzer

全国カテゴリー；絶滅危惧 A類

- 【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少 全ての生育地で生育条件が悪化 全ての個体群で強い捕獲・採取圧により減少
- 【形態】 多年草。根茎は横にはう。茎は高さ10～30cmで、葉や子房と共に腺毛が密生する。葉は2枚互生し楕円形。7月に茎頂に4cm程の緑黄褐色の花1個を垂れ下がってつける。背がく片は広卵形で長さ2cm内外、側がく片は楕円形で長さ1.5cm内外と短い。唇弁は大きな袋状で側花弁とともに茶褐色の斑点がある。
- 【分布】 秋田県から中部地方にかけて分布する。
- 【県内の分布、生育状況】 中通りや会津地方の亜高山の樹林下に生え極めてまれである。今回のレッドデータブック調査では確認できなかった。
- 【生育に影響を与えている要因】 森林伐採、園芸採取